

Company Profile

会社案内

FY2026

会社概要



母体企業 ESCO Technologies の概要

日本イーティーエス・リンドグレン株式会社は、米国ミズーリ州セントルイスに本社を置くESCO Technologies(以下ESCO)の完全子会社であり、同社の「RF Test & Measurement(テスト・計測)」事業における日本国内の全業務を担う拠点です。

親会社であるESCOは、防衛や航空宇宙をはじめ、無線通信、家電、ヘルスケア、自動車、エネルギー関連など、広範な産業分野へ高度な設計の製品とソリューションを提供するグローバルプロバイダーです。世界各地に拠点を持つグループの総合力を背景に、各分野の先端技術を支える革新的な製品を世に送り出しています。

また、ESCOはニューヨーク証券取引所(NYSE)の上場企業として、グローバルな事業展開を支える極めて強固な財務基盤を有しています。私たちはこの安定した経営基盤と世界規模のネットワークを最大限に活用し、日本のお客様へ長期にわたる信頼と最高水準の価値を提供し続けます。

ESCO 事業セグメント



// Aerospace & Defense (A&D)

当セグメントに属する各社は、航空宇宙分野向けに高度な設計が施された油圧ろ過システム、精密流体制御バルブ、加工部品、および特殊金属表面処理を提供しています。また、米国および英国海軍の潜水艦や水上艦のステルス性能を向上させるため、複雑な衝撃・振動減衰タイルに加え、シグネチャ管理(信号抑制)および電力管理ソリューションの設計・製造も手掛けています。

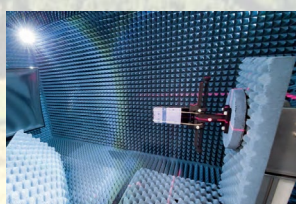
※A&D事業連結企業: ESCO Marine Solutions (米)、Globe Composite Solutions (米)、他4社



// Utility Solutions Group (USG)

ユーティリティ・ソリューション・グループ(USG)は、電力網の信頼性維持や再生可能エネルギーの開発に不可欠な、業界をリードする診断・保護試験装置および状態監視機器を提供しています。また、高度なコンサルティングやラボ試験サービスに加え、データ分析ソリューションを展開。電力インフラの安定稼働と持続可能なエネルギープロジェクトを技術面から強力に支援しています。

※USG連結企業: Doble Engineering Company (米)、NRG Systems (米)、他4社



// RF Test & Measurement (Test)

当セグメントは、電磁波エネルギーの計測と制御を実現するコンポーネントおよびシステムのリーディングプロバイダーです。研究開発から国際規格への適合試験、医療用シールド、電磁パルス(EMP)防護、さらにはセキュリティ・アプリケーションに至るまで、電磁波管理が極めて重要なあらゆる分野において、信頼性の高いソリューションを提供しています。

※Test事業連結企業: ETS-Lindgren(米)、MPE(英)

将来展望:2026年度に向けて(トップメッセージ)



Bryan Saylor
Bryan Saylor
ESCO Technologies Inc.
Chief Executive Officer and President
日本イーティーエス・リンドグレン(株)
代表取締役

2025年度は、ESCOにとって歴史的な一年となりました。魅力ある市場において強固な事業基盤をさらに拡充し、企業全体を通じて一貫した価値を提供し続けることができました。特に、二つの重要な事業取引を完遂したことで、主要なエンドマーケットにおける専門性はより研ぎ澄まされ、長期的な成長が期待できる分野において、より強固なポートフォリオを構築いたしました。昨年度の二桁成長という成果は、世界各地で活躍するチームメンバーの献身、専門知識、そしてたゆまぬ努力の賜物であり、グループ一丸となった取り組みが卓越したオペレーティング・パフォーマンスを牽引しています。この変革の時期を支えてくださったすべてのチーム、そしてステークホルダーの皆様の尽力に深く感謝いたします。

2026年度を迎えるにあたり、私たちの前にはさらなる躍進の機会が広がっています。主力である航空宇宙、海軍、そして電力市場における成長は引き続き強く、私たちはその成長を原動力として、さらなる事業効率の向上に取り組んでまいります。確かな市場プレゼンスと盤石な財務基盤を背景に、これからも未来に向けて価値を提供し続けることをお約束いたします。

ETS-Lindgrenの概要

ETS-Lindgrenは、産業・研究開発市場における電磁波エネルギー管理ソリューションのリーディングサプライヤーとして、世界中で高く評価されています。グローバルで750名以上の専門チームを擁し、現代社会の基盤を支える電磁波制御のコンポーネントやシステムを自社で設計・製造しています。90年におよぶ歴史の中で、私たちは革新的な技術提供を通じて、業界の枠を超え数多くの成功実績を積み重ねてまいりました。

【主な事業領域】

- 意図しない電磁エネルギーの放出・耐性をコントロールするEMC測定システム
- 移動体通信機器、基地局等の開発を支えるRF性能分析・測定システム
- 有人・無人航空機、宇宙探査通信、軍事試験用マイクロウェーブチャンバー
- 医療・工業用電磁波シールドルームの設計・施工
- 電磁パルス(EMP)防護環境の構築および関連製品の販売

ETS-Lindgren の主要事業拠点

北米	米国テキサス州シダーパーク(本社)
	米国イリノイ州 Wood Dale
	米国ウィスコンシン州 Minocqua工場
	米国オクラホマ州 Durant工場
欧州	フィンランド・Eura
アジア	中国・北京、上海、深セン(販売拠点)
	中国・天津工場
	シンガポール
	日本・東京
	台湾・台北
	インド・バンガロール



企業情報

ESCO Technologies Inc.

- 設立 1990年10月
- 従業員 3000名(グローバル)
- 所在地
645 Maryville Centre Drive, Suite 300
St. Louis, MO 63141

ETS-Lindgren Inc.

- 設立 1995年10月
- 従業員 740名(グローバル)
- 所在地
1301 Arrow Point Drive, Cedar Park
TX, 78613 USA

日本イーティーエス・リンドグレン株式会社

- 設立 2002年6月
- 従業員 12名
- 所在地
東京都文京区小日向4-2-6 〒112-0006
- 資本金 7100万円
- 役員
代表取締役 ブライアン・セイラー ※ (ESCO CEO)
代表取締役 東川 修人
取締役 デビット・シャッツ ※
取締役 アンディ・ワーナー ※ (ETS-Lindgren CEO)
取締役 ジョシュア・フィッシャー ※
取締役 山本 雅文
監査役 ナンシー・ワーリング ※
※ 非常勤

財務実績

2025年度 ESCOの財務ハイライト

2025年度は、事業ポートフォリオの最適化と運営効率の改善により、極めて強固な業績を収めることができました。

過去最高の受注状況

主要市場での旺盛な需要を受け、新規受注額は前年比57%増の16億ドルに達しました。売上を大きく上回るペースで受注が進んだ結果、受注残高は前年比71%増の11億ドルと過去最高を更新し、将来の成長に向けた確かな土台を築いています。

力強い売上成長

全体で前年比19%の増収となりました。既存事業の着実な伸び(9%)に加え、新たに仲間に加わった海軍関連事業(10%)が大きく貢献しています。

- 航空宇宙・防衛：4年連続で2桁成長を維持し、極めて好調です。
- 電力インフラ：基盤事業が6%成長し、再生可能エネルギー分野の調整局面をしっかりとカバーしました。
- 計測・試験：活発な受注を背景に、前年比13%の増収を記録しました。

収益性の向上と利益の拡大

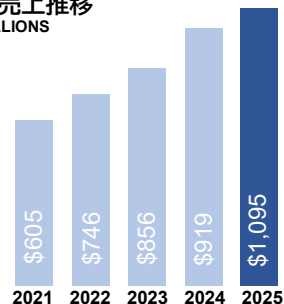
すべての事業セグメントで利益率が改善しました。売上の拡大とコスト効率の追求が相乗効果を生み、本業の儲けを示す指標(調整後EBITDA率※)は23.4%に向上。

2025年度の決算は、当社の戦略が正しく機能していることを証明するものです。今後も規律ある経営を通じて、ステークホルダーの皆様へ長期的な価値を提供してまいります。

※ EBITDA: Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation, and Amortization の略、営業利益に減価償却費を加算した利益の指標



/// 売上推移
IN MILLIONS



2025 Sales
DOLLARS IN MILLIONS

\$1,095m



RF Test & Measurement
\$237.2

Utility Solutions Group
\$380.0

Aerospace & Defense
\$478.2

※業績詳細はESCOが発行するAnnual report 2025をご参照ください。



Test: ETS-Lindgren の事業業績

2025年度の売上高は、前年度比で27.7Mドル(13.2%)の大幅な増収となりました。この成長は、世界各拠点における戦略的な事業拡大によるものです。

地域別の成長

- 米国拠点：15.4Mドルの増収。国内市場の堅調な需要を確実に取り込み、全体の成長を力強く牽引しました。
- 欧州拠点：8.8Mドルの増収。地域特性に合わせたソリューション展開が功を奏しました。
- アジア拠点：3.5Mドルの増収。グローバルな成長エンジンとして着実に寄与しています。

主要な増収要因：無線通信関連の構成比に一部変化があったものの、それを補って余りある「計測・試験機器」「産業用シールド」「医療サービス」「フィルター製品」の販売ボリューム増加が、全体の押し上げに大きく貢献しました。

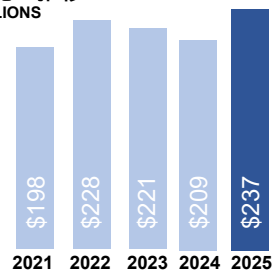
市場トレンドと成長戦略

テスト部門(ETS-Lindgren)は、独自の技術力を背景に、急速な変化を遂げる主要市場において成長を牽引しています。

- 次世代通信技術(ワイヤレス試験市場)：既存システムのアップグレードや、産業・消費者向け新製品の開発加速に伴い、テストシステム構築へのニーズが拡大しています。当社は強固な市場ポジションを維持し、これら高度な計測要求に応えています。
- オートモティブ(EV・自動運転)：電気自動車(EV)や自動運転(AV)開発の世界的拡大は、当社にとって継続的な成長機会です。特に成長著しい市場において、国際標準委員会と連携しながら標準規格の策定にも関与。独自のテストソリューションを提供し、技術革新をリードしています。
- ヘルスケア(高度医療機器)：北米を中心としたMRI室の需要拡大を受け、独自のシールド技術を展開。さらに、高度な術中画像ソリューション向けのターンキーシールド提供に成功するなど、この分野の先駆者として地位を確立しています。
- 防衛産業(EMP保護・データセキュリティ)：データセンター建設の急増に伴い、電磁パルス(EMP)保護およびRedEdge™パワーラインフィルター製品への関心が高まっています。データセキュリティの根幹を支えるソリューションとして、その重要性はさらに増しています。
- テスト部門は、今後も国際標準委員会への積極的な参画を通じ、業界基準に適合した次世代のテストソリューションを開発してまいります。各エンドマーケットの製品開発プログラムを強力に支援し、パートナー企業と共に未来を切り拓きます。



/// 売上推移
IN MILLIONS



Newsweek誌「2025年版 アメリカで最も優れた中規模企業」に選出

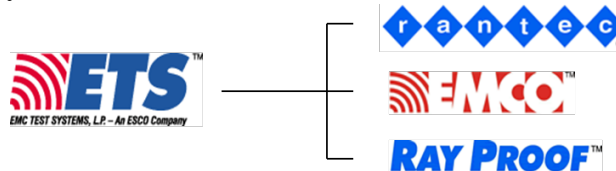
ETS-Lindgrenは、Newsweek誌とPlant-A Insights Groupによる厳格な分析(9,000社以上を対象とした調査)に基づき、2025年度の「米国で最も優れた中規模職場」の一社に認定されました。この評価は、優れた職場環境と高い従業員満足度を証明するものです。アンディ・ワーナー社長は、この受賞を「高品質な製品・サービスへの揺るぎないコミットメントと、世界750名以上の従業員の努力の賜物」と捉え、今後も業界をリードし続ける決意を表明しています。

※業績詳細はESCOが発行するAnnual report 2025をご参照ください。

沿革

革新のルーツとグローバルな進化

ETS-Lindgrenの歴史は、電磁波計測・シールド技術における先駆者たちの情熱が融合した歴史です。業界リーダーの統合と「ETS」の誕生1995年、ESCO Technologiesは業界を牽引する3社(EMCO、Rantec、Ray Proof)のリソースを統合し、EMC Test Systems (ETS) を設立しました。新会社としての歴史はここから始まりますが、その基盤には数十年にわたる深い経験が刻まれています。



- Ray Proof社 (1932年～): メディカルX線シールドのサプライヤーとして始動。1980年代初頭には、業界に先駆けて10m法電波暗室(FCC適合)を実現しました。
- EMCO社 (1960年代～): 磁界・電波周波数の研究からスタートし、EMCテストアンテナを世界に普及させた先駆者です。
- Rantec社 (1970年代～): 軍用電波吸収体やマイクロウェーブ電波暗室の開発をリードしてきました。

世界最大規模のRFシールディングカンパニーへ

- 1990年代後半から2000年代にかけ、戦略的な買収を通じてグローバル展開と技術領域の拡大を加速させました。
- 1997年: フィンランドの Euroshield社を買収し、欧州へ進出。同社の高度なシールド扉テクノロジーを継承しました。
- 2000年: Lindgren RF Enclosures社の買収により、MRI(磁気共鳴映像法)用シールドルーム分野でのリーダーシップを確立。同時にアジア拠点(シンガポール)を設立しました。この大きな統合を機に、社名を現在の ETS-Lindgren へと変更しました。



アジアマーケットにおける進出と成長の歩み

- 2000年: シンガポール支店設立。アジア進出の起点として設立。現在は中国、日本、インドを除くアジア全域を網羅する広域ハブを担っています。
- 2002年: 日本・中国(北京)進出、北京工場稼働。日本・中国での企業買収を通じ、拠点と生産体制を獲得。アジアにおける製造基盤を確立しました。
- 2006年: 台湾テクニカルセンター設立。高度な技術要求に応える専門拠点として設置。地域における技術支援体制を強化しました。
- 2009年: インド現地法人(バンガロール)設立。南アジアの拠点として設立。インド市場におけるプレゼンスを確固たるものにしました。
- 2019年: 中国・天津工場へ移転。生産能力の拡大と効率化を目的として、北京から最新鋭の天津工場へと拠点を移転しました。
- 2025年: 天津第2工場を稼働。旺盛な需要に対応すべく第2工場を新設。アジア市場の成長を支える供給能力を大幅に増強しました。



日本国内における歩み – 信頼と革新の歴史

ETS-Lindgrenは、40年以上にわたり日本の産業界とともに歩んできました。コンポーネント供給から大型プロジェクトの完遂、そして日本法人の設立へと至るその軌跡は、常にお客様への最適なソリューション提供とサポート体制の拡充を追求してきた歴史でもあります。



コンポーネント事業：国内計測技術のスタンダードを確立

- 1982年：国内総代理店契約と販売開始

ETS-Lindgrenの前身であるEMCO社、および後に統合されるHoladay社が、国内計測専門商社と総代理店契約を締結。電磁波試験用アンテナや電磁界(EMF)モニターの供給を開始し、日本のEMC計測の礎を築きました。

- 2002年：日本法人設立によるサポート体制の強化

市場の拡大に伴い日本法人を設立。現在は国内10社以上の有力な取扱代理店と連携し、全国各地のお客様に対して迅速かつ専門的なコンサルティングとアフターサービスを提供できる体制を整えています。

電波暗室事業：日本の技術革新を支えるプロジェクト

- 1984年：国内初動の指標となる電波暗室の建設

Ray Proof社が富士通株式会社沼津工場へ「10m法電波暗室」を建設。同時にRantec社が文部省宇宙科学研究所(現JAXA)へ「衛星評価試験用電波暗室」を納入しました。これらは当時の日本のエレクトロニクスおよび宇宙開発において、重要な技術的基盤となりました。

- 1995年：戦略的パートナーシップの確立

大塚製薬グループの大塚サイエンスがRantec社との契約を継承し、ETS社の日本総代理店に就任。医療、通信、宇宙防衛といった多角的な分野での国内展開を加速させました。

- 2002年：M&Aによる日本法人化と体制の統合

大塚製薬グループとの事業譲渡が成立し、ETS-Lindgren日本法人が正式に発足。グローバルの最先端テクノロジーと、日本国内のきめ細やかなエンジニアリング力を融合させ、盤石なカスタマーサポート体制を確立しました。

主要市場(国内)

電磁波制御テクノロジーで、まだ見ぬ未来を確かな現実に。

現代社会は電気・電子機器にあふれ、人々の生活に劇的な利便性をもたらしました。特に最先端の通信技術は、「高速・大容量」「多接続」「低遅延」という飛躍的な進化を遂げ、私たちの未来は現実空間と仮想空間が高度に融合する「Society 5.0」のような新たなステージへ向かっています。2030年代に向けた次世代インフラの枠を超え、さらなる進化を継続するために、世界中の国や企業は今、電磁波テクノロジー開発にしのぎを削っています。ETS-Lindgrenは、長年培った「電磁波エネルギーを制御するテクノロジー」を核に、高精度な測定器から精密な試験環境まで、トータルな電磁波測定ソリューションを提供することで、あらゆる産業の技術革新に貢献します。



市街地でも



宇宙



郊外でも



病院でも



オフィスでも



家庭でも

EMC・ノイズ対策試験ソリューション

メーカーが製品を市場へリリースする前には、国際的な適合性評価をクリアし、その製品の安全性や規制条件を満たしていることを証明しなければなりません。例えば電気製品においては、動作時に周辺機器へ悪影響を与えるノイズが発生していないか、あるいは外部からのノイズに対して十分な耐性（イミュニティ）を持っているかを厳格に評価する必要があります。ETS-Lindgrenは、業界のEMC規制や最新の国際規格に準拠した、卓上診断試験ツールから世界最大級のフルビークル試験施設まで、お客様のニーズに合わせた幅広い試験ソリューションを提供しています。

ワイヤレス試験ソリューション

「IoT」の到来により、スマートフォンなどの通信機器に限らず、家電、産業機器、インフラなど身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながることで、私たちの生活やビジネスは劇的な変化を遂げ、新たな価値が次々と生み出されています。ETS-Lindgrenは、これらIoTデバイスが通信目的で発信する、あるいは受信するアンテナの放射性能（OTA試験等）を正確に評価・可視化するソリューションを提供しています。これにより、新しい価値観を創造するメーカーの製品開発を強力にバックアップします。



船舶



自動運転



鉄道



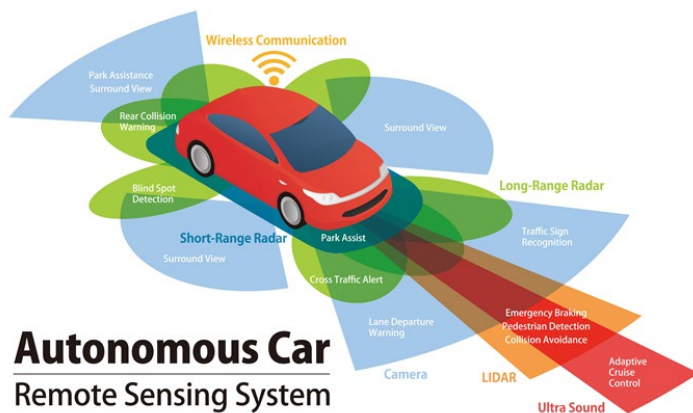
無線通信



航空機



移動通信



自動車試験ソリューション

現代の自動車を持つ制御機能は、多くのパートで自動化を実現しました。今後、自動車間の相互通信(V2V)や道路インフラとの通信(V2I)といったコネクテッド技術はさらに進化を続けます。一方で、自動車メーカーは快適さと引き換えに、自動運転の誤動作防止や乗員の安全確保のため、従来以上に厳格な実証試験を積み重ねる責任があります。

また、カーボンニュートラル実現に向けたEV化の加速により、E-Motorやバッテリーシステムの評価ニーズも急増しています。

当社のソリューションは、車載アンテナやレーダーの性能評価、E-Motor試験、車両全体のEMC試験用電波暗室など、多角化する自動車産業の高度な要求にワンストップで応えます。



電磁パルスプロテクション

従来、映画やSFの世界の話だと思われていた危険が、現実の脅威となりつつあります。高高度電磁パルス(HEMP)や意図的な電磁干渉(EMI)による重要インフラの無力化は、国家安全保障に関わる重大な課題です。

EMP事象を完全に防ぐことは困難ですが、その影響を最小限にコントロールすることは可能です。ETS-Lindgrenは、「RedEdge™」認定システムをはじめ、米国政府の政策策定にも寄与し

たシールド・プロテクトの専門知識を有しています。世界的に認められた保護技術と革新的な戦略により、従来の「様子見」のアプローチを覆す、鉄壁の防護策を提案します。

製品

ETS-Lindgrenの強み — 垂直統合による最適化

ETS-Lindgrenの優位性は、試験環境の核となる主要コンポーネントのほぼ全てを自社で設計・開発・製造する「垂直統合型」の体制にあります。

システム全体の完璧な調和

シールド筐体、電波吸収体、アンテナ、ポジショニングシステム、制御ソフトまで自社で一貫生産。他社製品の組み合わせで生じるインターフェースの不適合や性能の乖離を排除し、システム全体で最高レベルのRFパフォーマンスを保証します。

あらゆるニーズへの柔軟な適合

垂直統合能力を活かし、省スペースな卓上型から大規模な設置型チャンバーまで対応。国際規格への適合はもちろん、独自の測定条件に対しても自社エンジニアが各パーツのパラメータを微細に調整し、最適化された環境を構築します。

信頼のワンストップ・サポート

全コンポーネントの出所が明確なため、トラブル対応や将来のアップグレードも迅速かつ円滑です。単なる「部品の集合体」ではない、精度と信頼性が最適化された計測環境を長期間にわたり提供します。

コンポーネント: アンテナ、電界プローブ、アクセサリ

最新の計算モデリングと厳密な設計・製造を経た当社のアンテナ製品は、生産施設に隣接するA2LA認定ラボで個別に校正・評価されて出荷されております。

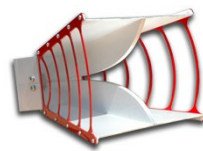
情報通信、自動車、家電、防衛・航空宇宙、研究機関に至る幅広い分野で数多くの業界標準モデルを創出しています。



ハイブリッドアンテナ



バイコニカルアンテナ



ダブルリッジアンテナ



クワッドリッジアンテナ



ダイポールアンテナ



ログペリアンテナ



ループアンテナ



ロッドアンテナ



コニカルログスパイラル



電界プローブ



パワーアンプ



システムコントローラー

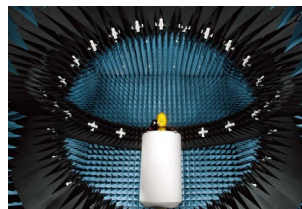
テストチャンバー・電波暗室・シールドルーム

特殊な電磁波遮蔽パネルにより、周辺環境からの干渉を完全に遮断し、被試験体のみの電波特性を精密に識別・計測するために構築された電磁波試験環境です。また、国際規格が定める無反射特性の維持から、お客様の研究開発における固有の要件まで、多様なニーズに最適化した設計・施工を提供しています。

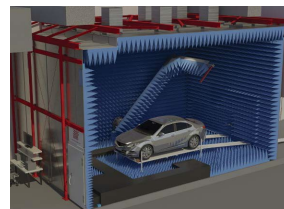
ETS-Lindgrenは、世界各地で50,000室を超えるプロジェクト実績を誇る、この業界のリーディングカンパニーです。



EMC試験



OTA試験



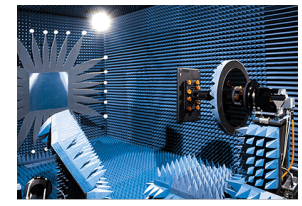
自動車アンテナ評価測定



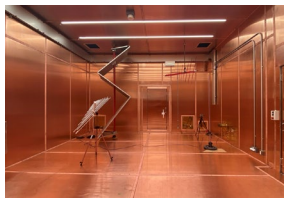
航空機試験



各種試験システム



間接遠方界試験



リバレーションチャンバー



各種シールドルーム

グローバル・ファクトリー・ネットワーク — 自社製造による確かな性能保証

ETS-Lindgrenの電波暗室を構成する主要部材は、各専門工場での精密な製造と厳格な品質管理を経て、世界各地の建設現場へ出荷されます。設計から製造、現地でのインストールに至るまで一貫した管理体制を敷くことで、世界中どこで構築されても変わることのない、極めて高い同一仕様と確かな性能を保証しています。



フィンランド工場
Eura – Finland

- ・ シールドドア
- ・ シールド関連部材



天津工場(第1・2工場)
Tianjin – China

- ・ シールドパネル
- ・ シールドドア
- ・ シールド関連部材
- ・ 電波吸収体



米国本社工場
Cedar Park – TX, USA

- ・ アンテナ
- ・ 電界プローブ
- ・ ポジショニングデバイス
- ・ GTEM
- ・ 校正ラボ



デュラン工場
Durant – OK, USA

- ・ 電波吸収体

Sales & Support Offices

UNITED STATES – TEXAS

Cedar Park, TX
+1.512.531.6400 Phone
+1.512.531.6500 Fax
info@ets-lindgren.com

UNITED STATES – ILLINOIS

Wood Dale, IL
+1.630.307.7200 Phone
+1.630.307.7571 Fax
info@ets-lindgren.com

UNITED STATES – WISCONSIN

Minocqua, WI
+1.715.356.2022 Phone
+1.715.356.2023 Fax
info@ets-lindgren.com

FINLAND

Eura
+358.2.8383.300 Phone
+358.2.8651.233 Fax
euinfo@ets-lindgren.com

CHINA

Beijing
+86(10)8273.0877 Phone
+86(10)8273.0880 Fax
china@ets-lindgren.com

JAPAN

Tokyo
+81.3.3813.7100 Phone
+81.3.3813.8068 Fax
japan@ets-lindgren.com

INDIA

Bangalore
+91.80.4341.8600 Phone
+91.80.4341.8611 Fax
indiainfo@ets-lindgren.com

SINGAPORE

Singapore
+65.6391.0026 Phone
+65.6291.7311 Fax
singapore@ets-lindgren.com

TAIWAN

Taipei
+886.2.27023389 Phone
+886.2.27023055 Fax
taiwan@ets-lindgren.com

日本イーティーエス・リンドグレン株式会社

東京都文京区小日向4-2-6 〒112-0006
TEL 03-3813-7100

www.ets-lindgren.com